Q1.モノづくり(※1)の経験があれば、どういったモノをつくったのか、自らが実際に行った役割を交えて詳しく教えてください。上記経験がなければ、あなたの研究内容、勉強してきた内容で、インターンで活用できると思うものを、アピールしてください。 （600字以内） 　（※1）＝ディープラーニングを用いたチャットボット・音声認識・画像認識プログラム、機械・ロボ・電子機器、NW環境、アプリ、サーバーなど、実際に作成したものであれば、何でも結構です。（数値的成果や、公開先、成果物を確認できるURLがあれば、併せて記載してください。）

私は画像検索プログラムの実装を行ったことがあります。使用言語はPython、画像処理ライブラリのOpenCVと数値計算ライブラリのnumpyを導入しました。実装した画像検索手法は2つあります。まず「内容に基づく画像検索」です。これは、検索したい画像(500枚)の中から任意の画像を指定し、類似度が最も高い画像を写真共有サイトから収集したデータセット(25000枚)から検索する手法で実装しました。類似度の算出にはカイ二乗距離を使用し、更に、距離尺度の比較のためコサイン距離も使用しました。なお、データセットの画像の特徴量を予めファイルに書き出しを行うことで計算時間の短縮を図りました。次に実装した手法は「キーワード/タグに基づく検索」です。データセットにはユーザから付与されたタグリストが存在し、タグの出現頻度をグラフで描画することで、べき乗則に従うグラフになることがわかりました。最後に、タグ間の関連度を算出し、高いものを関連の強い画像として検索を行いました。タグに基づく画像検索の性能を更に向上させるためには、タグ付けを行う人同士で、タグの種類や数、更に、タグがその画像に対してどれほど重要なものなのかを示した重要度などを決めることで、より信頼度の高いタグ付けを置こうことが出来、その結果、画像検索の性能が向上するという考察に至りました。

Q2.あなたがソフトバンクのインターンに参加する目的を教えてください。（600字以内）

私がソフトバンクに興味を持つきっかけとなったのは、大学の講義で出された課題でした。その課題の内容は、ソフトバンクの新30年ビジョンの動画を使用して感想文を書くというものでした。動画を視聴する中で経営理念である「情報革命で人々を幸せに」について、孫社長が涙ながらに思いを語るのを見て、経営理念を社長が本気で実現させようとしているのを感じました。そのような企業のインターンシップに参加し、実際に経営理念を体現させようとしている企業の経営理念だけでなく、ビジョン、バリューを社員の方々から実務などを通して感じ取れ、自分が社会人約60年の生活をどのように過ごすことが、社会への貢献になるのかを考える一つの指標となるはずです。それを可能にしてくれるのが、ソフトバンクのインターンシップにはあると確信しています。また、今後IoTの普及が確実の中、IoTデバイスばかりにならず、IoTに必ず内蔵される半導体を圧倒的なシェアを持つARMを買収したことで、中長期的な目を持って市場の動向を読む力は、他の企業より強いものだと思います。そんなソフトバンクグループの中核事業として成長を目指しているIoTは現在、現場でどのように研究、開発が行われているかインターンシップを通して知れることは、大学院進学も考えている私にとって、これからどのように情報分野の勉強をすればよいかの指針になると思います。以上が参加する目的となります。